

八雲

第48号

(平成23年10月発行)



題：「これはね」

撮影：上代優花さん(3年)

(H23高文連春季写真コンクール特選作品)

大東高校校歌

- 1、 勝田の森の奥深く
文の林に分け入りて
学びの花を摘まんかな
袂の花のほこらひに
我が青春は謳ふべし
- 2、 夕影たかく秋深き
織部の山に風かよふ
かの夕ずつの訪ひを
返らぬ夢ときくなれば
手を取りていざ共に哭け
- 3、 理想の洋は遙かなり
真理の道の遠ければ
あゝカルデアの牧人が
尋ねし星を今更に
中天高くよまんとす
- 4、 東天高く曙の
光は走る今にして
平和の鐘のひびく時
自由と愛の舵をとり
いざ大瀛に棹さゝん



巻 頭 言



八雲会会長 景山純孝

9月に入ってなお厳しい暑さが続いています。八雲会の皆様にはご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。つい先日9月11日を迎え、アメリカでの同時多発テロ事件から10年、東日本大震災から丁度半年、くしくも世界的に大きな事件が11日と重なり忘れえない日となりました。

毎日報道される津波の残した痕跡、あわせて福島原発事故といずれも一朝一夕に元の状態に戻る事柄ではありませんが、それでも一刻も早く元に復元することを祈らざるをえません。八雲会会員の皆様の中にも、この両事故に遭遇された方がいるのではないかと思います。

八雲会の東京支部総会、広島支部総会がすでに開催されました。お世話頂きました皆様方ご苦勞様でした。関西支部総会はこれからです。なんとかして出席させて頂こうと思っています。

卒業証書授与式でよく歌われた「仰げば尊し」の一節に「身を立て 名を上げ やよ励めよ」とありますが、支部総会に出席された皆さんの姿を

拝見するといつもこの一節を口ずさんでしまいます。故郷を離れ自分の力一つを頼りに頑張り抜いてこられた方々だからです。元気な姿を拝見できることを楽しみにしています。

7月の始め大東交流センターで八雲会の総会を開きました。アトラクションでいつもの講演形式をやめ剣道部、空手道部の演技を披露してもらいました。剣道部は型から始まり審判3人を立て試合をしました。素早いこて・めんで一本取る様子は平素厳しい練習をしていることをうかがわせました。空手道部は型・組手の試技ともに実にきびきびとした動きでした。護身術の披露で何人かに襲われたときの処し方、刃物で刺されそうになったときの身の処し方の紹介があり盛大な拍手がありました。若き後輩たちは元気に活躍をしていることを強く感じましたのでここに紹介しました。

八雲会会員の皆様には、それぞれの地にあってもくれぐれも健康に留意して過ごされますよう祈念しております。



八雲会会員の皆様へ



校長 河原 一朗

八雲会の皆様には、益々ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。本校の教育活動につきまして平素から様々なご協力とご支援をいただきありがとうございます。

さて、今年度の入学生は定員160名に対し、122名と残念ながら少なく、生徒募集が本校の大きな課題となっており、来年度には是非増えるよう学校の魅力化とPRに努めていきたいと考えています。

授業では、英語・数学を中心に1クラスを2グループに分けて授業をするなど習熟度別少人数指導を増やしたり、平成24年度からはクラス編成を進路希望によって文系・理系に分けて、今まで以上に生徒の個々に応じた指導を行い多様な進路希望に対応できるようにする予定にしています。

部活動では、全国高校総体にソフトボール部(女)・バドミントン部(男女)・空手道部(女)が出場しました。中国大会にはこれ以外の部も出場するなど活躍しています。今年度は、後期総体

の2日目には、全校で盛り上げるため、本校としてははじめてですが、全校でバスで松江と出雲に応援に行きました。また、野球部は夏の大会で2回戦で敗退しましたが、今後に期待が持てる試合内容でした。引き続き皆さんの応援をお願いしたいと思います。

また、6月には、大東駅等や学校周辺の清掃など地域へのボランティア活動も行いました。こういった活動を通し、地域への感謝の気持ちを伝えると共に、ボランティア精神を養い、地域の一員としての役割を果たすことを学んでくれたものと思っています。

校舎改築については、第5棟が7月に完成し新しい視聴覚教室・音楽室・パソコン教室を既に利用しています。なお、2棟(管理棟)3階については当初撤去の予定でしたが、再度耐震検査をして使える状況であれば撤去せず改修工事を行うため工事が来年度の夏休みまで延長されることになりました。

9月1～3日に、織部祭を行う予定でしたが、3日に予定していた体育祭を台風12号のため延期・延期で6日に変更して行いました。6日は台風一過の快晴の中、例年にもまして、生徒が燃えた学園祭でした。これらの詳細については、HPに掲載しています。

なお、PTAの予算的協力を経て、HPをリニューアルし部活動結果や学校行事の様子を迅速に情報提供できるようにしました。平成30年の100周年にむけて八雲会の支部会の状況なども載せるなど内容も充実しましたので是非ごらんいただきたいと思います。

平成23年度 八雲会総会 報告

平成23年度の八雲会総会を7月9日(土)に、大東地域交流センターの研修室において開催しました。景山純孝八雲会会長、河原一朗校長の挨拶に始まり、議事では、昨年度の事業報告・会計決算、本年度の事業計画・会計予算等について報告がなされました。

例年、総会終了後に講演会を開催していますが、今年度は趣向を凝らし、本校の部活動の披露がなされました。剣道部と空手道部による形や普段の練習内容の披露がありました。現役の高校生の緊張感あふれる演武に、参加された会員の皆様からは「とてもよかった。」「感動した。」「最近の母校の生徒の様子がわかってよかった。」という賛美のお声を多数いただきました。引き続き、懇親会が行われ、交流が深められました。



八雲会関東支部総会 報告

平成23年度の八雲会関東支部総会が6月25日(土)、八雲会本部から安原重隆副会長、河原一朗校長、及び高橋隆正幹事長(大東高校教諭)の3名が参加し、東京都新宿区の「日本海庄や」に於いて開催されました。当日は東京都及びその近県(神奈川・千葉・埼玉)から会員18名の方が出席されました。奥田勲支部長様のご挨拶、河原校長からの大東高等学校の近況報告の後に懇親会に入りました。今年度の支部総会には平成19年に春の叙勲を受けられた蒔田吉夫様(高校7期卒業)にもご参加いただき、お互いの近況を確かめ合われていました。



広島支部会だより

八雲会広島支部 新事務局長

佐藤和紀

八雲会広島支部は、平成23年度の総会を7月16日、八雲会本部から太田多美子副会長、梅木修治幹事（大東高校事務長）、及び成相智志幹事（大東高校教諭）をお迎えし、広島市南区のホテルニューヒロデンに於いて開催しました。

当日は広島市及びその近郊から会員23名が出席し、勝部省三事務局長の司会で総会は始まりました。物故者の黙祷では昨年の夏、長く献身的に広島支部を支えてくれた森脇雄君を突然失ったことは広島支部の運営に痛手となると同時に出席者の悲しみをさそうことになりました。その後、富久禮識支部長から、開会に当たり「今年は火山の噴火、地震、津波などの自然災害が多く発生した。こうした中で本日皆さんは元気で出席いただき、嬉しく思うと同時に感謝申し上げる」との挨拶があり、続いて太田副会長さんから広島在住時代の思い出ばなしなども交え挨拶があり、また、梅木幹事さんからは大東高等学校の近況報告をいただきました。中でも部活動の結果については自分たち学生時代の活動と照らし合わせて関心が深かったようです。支部会計の報告の後、狩野彰彦さんの乾杯の音頭で懇親会に入り、出席者全員が改めて自己紹介を行い、また久しぶりの出会いで賑やかに会話が進み、お互いの近況を確かめました。今年度も村上智恵子さん、白川和枝



さん、成松はるみさんの女性3名も参加してくれました。カラオケが盛んに歌われる中、瞬く間に時間は過ぎ、司会者の二次会の案内で勝平慎二さんが中締めし、カラオケルームへ会場を移しました。その後は皆さんのご想像どおりであります。十分に飲み食い、そして歌い旧交を深めることができた楽しい総会でありました。

来年も盛会に開催することを約束し散会しましたが、広島支部も会員の高齢化という問題に直面しています。支部発足時代は広島市内にある広島電鉄、タカキペーカー、寿屋、中国財務局などに勤める会員が中心となって運営してきましたが、あれから50年、会員の大半が職場を退職し後期高齢者の仲間入りをしてきています。近年、新しい会員がぼつぼつ入会してきてはいますが、思ったほど会員数は増加していません。今後は若い会員を集めることが最大の課題となっています。



富久礼識支部長



太田八雲会副会長

第32期卒業生 同窓会開催

高橋 隆正(第32期)

8月15日(月)に大東地域交流センターにおいて、第32期卒業生の同窓会を開催しました。この32期生は定員45名4クラスの定員180名であるところを200名が入学を許可されました。高校卒業からはや31年が経ち、今年50歳の節目を迎えます。この節目となる年を記念し、クラスを超えた学年全体の同窓会を開催しようということになり、こ

の日を迎えました。

この学年の担任をしていただいた国語の石原寛巳先生、数学の山田忠男先生においていただき、卒業生65名が出席し、お互いの旧交を暖め、近況を語り合いました。参加者は東京や神奈川、遠くは香港から帰省に併せて参加していただき、とても賑やかな会となりました。お二人の先生方からは当時の苦勞話をお聴かせいただきました。度重なる家庭訪問で地域の様子もよく把握できたとおっしゃって会場には笑いが起こっていました。

当時の学園祭(体育祭)は各学年2クラスごとで分団を編成し、競技や応援合戦を競い合っていました。その競い合いに力が入りすぎ時にはお互いにおぶつかり合うこともありましたが、今でもあのときのことを語ると思わず熱くなったりします。学年全体の同窓会を計画したときにうまくいくのかと一抹の不安がよぎりましたが、実行委員会を何回も重ね、この日を迎えられたことを大変うれしく思いました。再会を楽しみにしております。



石原先生

山田先生



八雲会

平成22年度事業報告と 平成23年度事業計画

平成22年度 事業報告

- 4月10日(土) 関西支部会 (会長、校長、門脇)
- 4月27日(火) 第1回校内幹事会
(役割分担、事業報告・計画、
決算、予算、役員会)
- 5月17日(月) 監査会、役員会
(決算、予算、事業、総会)
- 5月25日(火) 関東支部会 (校長)
- 6月1日(火) 第2回校内幹事会 (総会)
- 6月3日(木) 選考委員会
- 6月16日(水) 第3回校内幹事会 (総会)
- 7月1日(木) 大東支部会
- 7月10日(土) 八雲会総会

出雲大社教 神代神楽 小河内社中公演

支部長 新田 和徳氏 ほか

- 演題** (1) 悪切り剣舞
(2) 籠の川大蛇退治

- 7月17日(土) 広島支部会 (教頭、高橋)
- 11月上旬 会報「八雲」第47号発刊
- 11月28日(日) 阿用支部会
- 11月29日(月) 春殖支部会 (青木)
- 11月29日(月) 海潮支部会 (門脇)
- 12月21日(火) 加茂支部会 (梶谷)

平成23年

- 1月24日(月) 第4回校内幹事会 (入会式)
- 2月11日(金) 幡屋支部会 (高橋)
- 3月1日(火) 第63期八雲会入会式
- 3月3日(木) 久野支部会

平成23年度 事業計画

- 4月15日(金) 第1回校内幹事会
(役割分担、事業報告・計画、
決算、予算、役員会)
- 5月16日(月) 監査会、役員会
(決算、予算、事業、総会)
- 6月24日(金) 大東支部会 (門脇)
- 6月25日(土) 関東支部会
(安原副会長・校長・高橋)
- 6月27日(月) 第2回校内幹事会 (総会)
- 7月9日(土) 八雲会総会

大東高校 部活動 披露

剣道部・空手道部による演武

- 7月16日(土) 広島支部会
(太田副会長・事務長・成相)
- 10月上旬 会報「八雲」第48号発刊
- 10月8日(土) 関西支部会
(景山会長・校長・高橋)
- 月 日() 阿用支部会()
- 月 日() 春殖支部会()
- 月 日() 海潮支部会()
- 月 日() 加茂支部会()
- 月 日() 宍道支部会()
- 月 日() 松江支部会()
- 月 日() 木次支部会()
- 月 日() 塩田支部会()
- 月 日() 佐世支部会()
- 月 日() 幡屋支部会()
- 月 日() 久野支部会()

平成24年

- 2月 日() 第3回校内幹事会 (入会式)
- 3月1日(木) 第64期八雲会入会式

平成22年度 大東高校八雲会一般会計決算書

1. 収入の部

(単位:円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
入会金	1,242,000	1,176,570	▲ 65,430	年額3,000円×396人=1,188,000円等 250円×(-75人)=▲18,750円(返金分)
繰越金	2,254,587	2,254,587	0	前年度繰越金
返還金	300,000	300,000	0	90周年記念事業会計より返還金
雑収入	413	421	8	預金利息、過年度分入会金
合計	3,797,000	3,731,578	▲ 65,422	

2. 支出の部

(単位:円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
総務費	900,000	328,501	▲ 571,499	
会議費	450,000	193,420	▲ 256,580	役員会、総会経費等
旅費	250,000	95,373	▲ 154,627	支部会出席旅費
通信費	100,000	24,630	▲ 75,370	郵券代等
事務費	100,000	15,078	▲ 84,922	事務用品代等
事業費	1,650,000	1,163,186	▲ 486,814	
八雲発行費	900,000	581,776	▲ 318,224	会報「八雲」印刷代、発送費等
支部助成費	600,000	450,000	▲ 150,000	関東、関西、広島、大東、幡屋、阿用、春殖、久野、海潮、加茂
入会式	150,000	131,410	▲ 18,590	入会記念品(証書入れ、ネームペン)
雑費	100,000	68,395	▲ 31,605	支部一覧表代、新聞広告料、記念品料、香典
繰り出し金	0	0	0	
予備費	1,147,000	0	▲ 1,147,000	
合計	3,797,000	1,560,082	▲ 2,236,918	

特別会計(積立)決算書
平成21年度末残高 4,071,459円
平成22年度利息 789円
平成22年度末残高 4,072,248円

(収入総額) 3,731,578円 - (支出総額) 1,560,082円 = (差引残額) 2,171,496円・平成23年度へ繰越

平成22年度 大東高校八雲会名簿会計決算書

1. 収入の部

(単位:円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
名簿代	0	0	0	
繰越金	2,402,396	2,402,396	0	前年度繰越金
雑収入	604	476	▲ 128	預金利息
合計	2,403,000	2,402,872	▲ 128	

2. 支出の部

(単位:円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
名簿発刊業務費	242,000	239,530	▲ 2,470	
名簿発刊業務費	241,500	239,400	▲ 2,100	今年度卒業生発刊分 2,100円×114名
仕分発送業務費	500	130	▲ 370	後納料金代
予備費	2,161,000	0	▲ 2,161,000	
合計	2,403,000	239,530	▲ 2,163,470	

(収入総額) 2,402,872円 - (支出総額) 239,530円 = (差引残額) 2,163,342円

平成23年度 大東高校八雲会一般会計予算書

1. 収入の部

(単位：円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
入 会 金	1,233,000	1,242,000	▲ 9,000	年額3000円×411名=1,233,000円
繰 越 金	2,171,496	2,254,587	▲ 83,091	前年度繰越金
雑 収 入	504	413	91	預金利息
返 還 金	0	300,000	▲ 300,000	90周年記念事業会計より返還金
合 計	3,405,000	3,797,000	▲ 392,000	

2. 支出の部

(単位：円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
総 務 費	1,000,000	900,000	100,000	
会 議 費	450,000	450,000	0	役員会、総会費
旅 費	250,000	250,000	0	支部会出席等旅費
通 信 費	100,000	100,000	0	郵券等
事 務 費	100,000	100,000	0	事務用品代等
会員管理費	100,000	0	100,000	会員登録、データ管理等
事 業 費	1,650,000	1,650,000	0	
八雲発行費	900,000	900,000	0	会報「八雲」印刷代、発送費等
支部助成費	600,000	600,000	0	関東、関西、広島、松江、宍道、加茂、木次、大東、春晴、糠屋、佐世、阿用、久野、海潮、塩田支部
入 会 式	150,000	150,000	0	入会記念品
雑 費	100,000	100,000	0	慶弔費等
予 備 費	655,000	1,147,000	▲ 492,000	
合 計	3,405,000	3,797,000	▲ 392,000	

特別会計（積立）予算書

平成22年度末残高 4,072,248円
 名簿会計より繰り入れ 2,163,342円
 平成23年度利息 410円
 平成23年度末残高見込額 6,236,000円

※名簿会計は今年度よりなくなります。その代わりに、一般会計予算に会員管理費を計上し、会員登録、データ管理を行うことにしました。

八雲会の皆様へ

八雲会事務局長 教頭

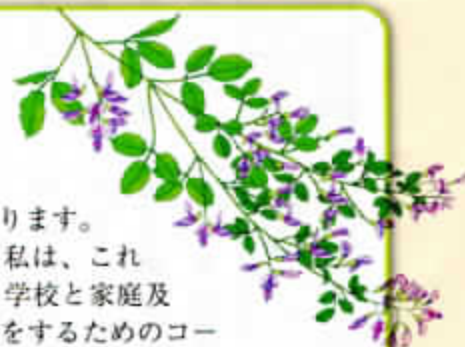
見 玉 論

八雲会の皆様には、平素より本校の教育活動にご協力いただきまして、ありがとうございます。この場をかりまして厚くお礼申し上げます。

八雲会は、毎年盛大な総会を開催されています。特に今年はアトラクションで生徒と一体となって大いに盛り上がりました。八雲会のパワーを実感いたしました。現在鳥根県の高等学校でこれだけの活動をしている卒業生会があるのでしょうか。私自身も自分の出身高等学校の卒業生会の一員ですが、何もしていません。八雲会の方々の活動に敬意を表するとともに、自分

の活動を反省しております。

昨年のこの場で、私は、これからの卒業生会は、学校と家庭及び地域が密接な連携をするためのコーディネーターとして、ますます重要な役割となっていくと申し上げたと思います。まさに、八雲会は、そのコーディネーターとしての役割を十分果たしておられます。本校としてもそれを受けて一層元気で活力のある学校にしていきたいと思ひます。



平成22年度～23年度 八雲会役員一覧

役職	氏名	期	役職	氏名	期	役職	氏名	期
顧問	川上 朋良	高3	副会長	安原 重隆	高11	監事	岩田 松子	高7
	角谷 雄輔	高7		太田 多美子	高13		増田 敏男	高10
会長	景山 純孝	高9		金 榮 映次	高14		上代 貫一	高15
				河原 一朗	校長			

【理事】

役職	氏名	期	役職	氏名	期	役職	氏名	期	
大東	井上 縉宏	高13	久野	堀江 善彦	高23	宍道	渡部 清美	高27	
	渡部 ミドリ	高3		長沢 正也	高26		松江	林 透	高18
	太田 拓志	高13		長妻 賢二	高32	八幡 憲次		高19	
	安部 幸治	高24	塩田	黒川 弘義	高18	広島	富久 禮識	高6	
	森 聡誠	高10	佐世	福岡 正明	高13	関西	広木 益夫	高16	
春殖	門 聡勝	高13	幡屋	森山 武史	高25	関東	奥田 勲	高10	
	門 聡廣	高19		山崎 英志	高29		野々村 興太郎	高10	
	木村 晋吾	高27		金 榮 映次	高14		林 幸雄	高13	
海潮	塩野 紀富	高9	加茂	安部 操	高15				
	安達 茂	高13		岸本 邦夫	高19				
	木村 昭憲	高17		高橋 一裕	高28				
阿用	荒木 貞治	高9			斉藤 雅孝	高28			
	景山 源榮	高15			畑 宏明	高29			
	朝日 幸子	高16		加納 忠夫	高31				
	水瀬 康典	高18	木次	佐藤 弘之	高23				

【代議員】

役職	氏名	期	役職	氏名	期
大東	糸川 栄一	高19	久野	上代 英治	高29
	狩野 泰秀	高20		三澤 郁穂	高35
	小山 益男	高20	塩田	安達 隆亜	高42
	石川 辰子	高23	佐世		
	狩野 恵子	高24	幡屋	本多 昭人	高21
山本 司	高32	山崎 達夫		高24	
横山 美昭	高20	舟木 忠夫		高24	
春殖	糸原 優二	高33		田中 互	高37
	田中 久志	高33	加茂	竹村 治美	高17
	新田 昭隆	高15		錦織 直行	高19
海潮	岩田 和義	高19		吉岡 敏隆	高27
	福岡 広明	高20	松江	岩橋 弘政	高18
	宮川 稔	高27		細木 勝美	高18
	陶山 隆之	高17	広島	勝部 省三	高13
阿用	細木 康史	高19	関西	高橋 潮	高10
	木色 薫	高20			

【八雲会支部長】

大東支部 井上 縉宏
 幡屋支部 森山 武史
 海潮支部 安達 茂
 阿用支部 景山 源榮
 佐世支部 福岡 正明
 春殖支部 門 聡勝
 久野支部 堀江 善彦
 塩田支部 黒川 弘義
 加茂支部 金 榮 映次
 木次支部 佐藤 弘之
 宍道支部 渡部 清美
 松江支部 林 透
 広島支部 富久 禮識
 関西支部 広木 益夫
 関東支部 奥田 勲

大東高等学校事務局長 児玉 諭 (教頭)	TEL(0854)43-2511 FAX(0854)43-2512
幹事長 高橋 隆正 高32	幹事 成相 智志 高33
幹事 梅木 修治 (事務長)	幹事 門脇 康文 高39
幹事 小山美紀子	

よろしくお願ひします。



特別寄稿

おりべ5期の会

高校第5期 加藤 文則

私たち高校第5期卒業生（昭和9年生まれと10年生まれの組）は、同窓会名を「おりべ5期の会」（代表＝運岡法璋・事務局＝加藤文則）と名付け、昭和63年の「卒業25周年記念同窓会」以来、「2年ごと開催」を原則として開催し続け、開催年に当たる今年、この6月に「喜寿の会」を開き、大いに盛り上がりました。

当初会員115名、ご逝去20名、所在不明4名で、現在会員は91名ですが、「喜寿の会」にはその3分の1に当たる32名が出席し、旧交を温めました。会のお開きは、校歌の高唱と、「別れることはつらいけど・・・」の『星影のワルツ』の大合唱で再会を誓い合うのが定番となっています。

私たちの学年は、どうした訳か学制改革に不思議と縁があります。昭和16年、国民学校例で発足した国民学校は、私たちが最初の新1年生。戦後の昭和22年、学校教育法による「6・3・3制」で発足した新制中学校も私たちが第1期生。昭和25年入学の高校も、新制高校として受験入学したのは私たちが最初で、入学時の2年生、3年生の先輩は、女性が旧制大東高女から、男性が主に旧制三刀屋中学からそれぞれ編入された方々で、しかも、男性は少数派でした。卒業生名簿によると、2年生（第4期）は、全学年85名中男子が30名。3年生（第3期）は、全学年63名中男子が13名となっています。

先輩男子は、旧制中学の蛮風が色濃く残っていて、入学早々、2年生の先輩男子に新入生全員が呼び出され、家庭科教室の調理テーブルの上に正座させられ、シゴキを受けるという、手荒い歓迎を受けたりもしました。

入学してすぐ、校歌が制定され、図書館がオープンし、運動場が拡張されるなど、「新制高校」としての装いが少しずつ整っていきました。2年生の頃にもなると、クラブ活動も活発になり、運動部、野球部等が対外競技で好成績を挙げるようになり、それらに対応するため、応援団が生まれ、応援歌や道遠歌の類が創られていきました。3年生の時、運動場が再拡張され、新しい体育館が竣工しました。このころの演劇部の地方巡業（海潮・加茂等）も忘れられない思い出の一つです。

個人的には、昭和27年の新聞部の立ち上げと、同年9月、山陰新報（現山陰中央新報）の第4回学生記者コンクール・第一部（大学・高校）に応募し、私の応募原稿が第一席と佳作に入選したことなどが思い出です。

新聞部は、「生徒の声を代表する言論機関が是非とも必要だ」という、当時の切羽詰まった生徒サイドの声に押されて創部し、7月10日、ガリ版刷りの創刊号を送り出しました。発行経費捻出のための広告集めには、記事づくり以上に苦勞した記憶があります。

學生記者コンクールのページ

赤川ボタルにメス

なぜ減少する？ 大東高校の生物班活躍

入選 第一部一席

われらが赤川ボタルが、近年減少の一途を辿っているのは、環境汚染によるものか、または生物の減少によるものか、また生物の減少によるものか、など、まだ生物の減少の原因が不明です。また、赤川ボタルの減少は、全国的にみても、大東高校の生物班が、この問題について、(大東高校)に立上っています。

赤川ボタルの減少は、全国的にみても、大東高校の生物班が、この問題について、(大東高校)に立上っています。

赤川ボタルの減少は、全国的にみても、大東高校の生物班が、この問題について、(大東高校)に立上っています。

赤川ボタルの減少は、全国的にみても、大東高校の生物班が、この問題について、(大東高校)に立上っています。

山陰新報 昭和27年10月20日付け 学生記者コンクールのページ「赤川ボタルにメス」

当時の高校は、前身が女学校であったせいか、PTA役員や学校補助部が、風紀(男女交際等)や服装、身だしなみ等にやたらとうるさく、事あるごとに生徒会に干渉していました。極めつけは男子の「長髪問題」でした。当時、男子の一部に長髪(刈上げ)が流行り始めていたのですが、学校側はこれを禁止し、丸刈りを強要し、従わない生徒に対しては父兄宛に警告文を送りつける措置に出ました。初めの頃は学校側の「問答無用」的なやり方に反発していた長髪組も、父兄宛ての文書が効いたのか、一人減り二人減りして、最後はA君一人になってしまいました。

私たちは、長髪がよいのか悪いのかではなく、生徒の意見も聞かず、納得できる説明もしないまま、父兄まで巻き込んだ学校側の強権的なやり方が救せませんでした。創刊号のコラムは、この問題を早速取り上げています。

学生記者コンクールの第一部一席の記事は、生物班の赤川ボタルの研究を取り上げた「赤川ボタルにメス -なぜ減少する?」。佳作は変容する「山王寺・神楽の里・探訪レポート」です。

入選発表のあった10月20日、高額の賞金が入るものと勝手に思いこみ、町内某所で仲間とともに痛飲し、翌日は二日酔いで授業をまともに受けることができませんでした。ところが、後日届いたのは、記念の筆記用具と賞状のみ。おかげで、飲み代の精算のため、しばらくはアルバイトに精を出さざるを得ない羽目に追いやられてしまいました。

2年後の平成25年は、卒業60周年と9年生まれの傘寿の年に当たります。「おりべ5期の会・卒業60周年&傘寿の会」が無事に、盛大に開催できるよう、会員一同の健勝を、心から願っています。

一部入選 大東高加藤君

第四回学生記者コンクールなど 入選作品目録

- 【第一部】 大東、高加藤君
 - 入選一席 「赤川ボタルにメス」
 - 入選二席 「山王寺・神楽の里」
 - 入選三席 「探訪レポート」
- 【第二部】 中、小
 - 入選一席 「大東の発展」
 - 入選二席 「赤川ボタル」
 - 入選三席 「山王寺」
 - 入選四席 「神楽の里」
 - 入選五席 「探訪レポート」

山陰新報 昭和27年10月20日付け 一部入選一席 大東高加藤君

大東高校新聞

編集長 橋本 辰雄
副編集長 橋本 辰雄
発行所 大東高校
印刷所 大東高校

大東高校新聞創刊に寄せたもの

大東高校新聞創刊のことは、昨年私の赴任以来の念願であったのであるが、遺憾なくこれにこたえたる教師陣の協力が得られ、生徒側からの熱意も、内外共にこの新聞はすでにその理由が明瞭に示すまでもなく、明瞭である。昭和二十七年の創刊は、本校に多大の発展をもたらすことである。昭和二十七年の創刊は、本校に多大の発展をもたらすことである。昭和二十七年の創刊は、本校に多大の発展をもたらすことである。

新聞批判を祝して

新聞批判を祝して
新聞批判を祝して
新聞批判を祝して
新聞批判を祝して
新聞批判を祝して

学校新聞発行に際して

学校新聞発行に際して
学校新聞発行に際して
学校新聞発行に際して
学校新聞発行に際して
学校新聞発行に際して

体育館に竣工式

体育館に竣工式
体育館に竣工式
体育館に竣工式
体育館に竣工式
体育館に竣工式

全山陸高校新聞連盟結成

全山陸高校新聞連盟結成
全山陸高校新聞連盟結成
全山陸高校新聞連盟結成
全山陸高校新聞連盟結成
全山陸高校新聞連盟結成

図書充実

図書充実
図書充実
図書充実
図書充実
図書充実

赤城寸銭

赤城寸銭
赤城寸銭
赤城寸銭
赤城寸銭
赤城寸銭

東西南北

東西南北
東西南北
東西南北
東西南北
東西南北

図書案内

図書案内
図書案内
図書案内
図書案内
図書案内

赤城寸銭
赤城寸銭
赤城寸銭
赤城寸銭
赤城寸銭

東西南北
東西南北
東西南北
東西南北
東西南北

図書案内
図書案内
図書案内
図書案内
図書案内

赤城寸銭
赤城寸銭
赤城寸銭
赤城寸銭
赤城寸銭

裁縫 江崎菓子店
洋服 江崎菓子店
靴 江崎菓子店
お菓子 江崎菓子店

文具 文堂
書籍 文堂
レコード 文堂
小物 文堂

丸徳紙店
和紙 丸徳紙店
洋紙 丸徳紙店
和紙 丸徳紙店

(お断り・・・紙面の都合で第1面のみ掲載させていただきます)

卒業生寄稿

「高校時代にタイムスリップ」

第37期(S60年卒) 永瀬 博

卒業して、はや27年も経とうとしています。

その間、ほとんど高校を訪れることもなく、たまに高校の体育館で行われる子どもの剣道の合同稽古に保護者として参加するくらいで、これまで校舎などには入ったことがありませんでした。

そんな中、昨年、長男が大東高校に入学、部活動は剣道部に入部し、私は剣道部保護者会の会計となりました。保護者会の役員会等の行事が、あの体育教官室で行われることがあり、何年振りかで入室させていただきました。当時は入室するだけで、緊張感で一杯だったのを思い出しました。

また、先生との二者面談では、懐かしい図書館や教室に入ることができ、なかなか校舎外からは見ることのできない私の中の高校時代の原風景ともいべきシーンを見ることができました。それだけでなく、二者面談で先生と会話をすると、子どもの話なのに、自分の時はどうだったか、どんな思いを持って高校時代を過ごしていたのか、などを思い出しました。

この27年間、決して高校時代を忘れようと思っていたわけではなく、単に忙しさにかまけて、忘却の彼方に過ぎ去っていただけですが、長男が入学したことでその当時の記憶、想いなどが甦った気がします。

別にそれを現在の生活に役立てようとか、そういう気持ちはないのですが、これまで生きてきた自分を振り返る良いチャンスになったのではと感じています。当時の自分が今の私を見たら何て言うのでしょうか。子どもに偉そうなことは言えないな～と痛感するこの頃です



「大東高校の思い出」

第56期(H16年卒) 仲井 隆介

私が大東高校を卒業して、早いもので7年が経ちます。7年という長い年月が経っているにもかかわらず、大東高校での日々は今でもごく最近のように覚えています。特に、部活動、受験勉強というのは私の中で思い入れが深く、今でも時々当時の写真や試験の結果等を見返すことがあります。

私は3年間バスケットボール部に所属し、夏は高校横の加多神社の階段をダッシュ、冬は寒い体育館で隣のコートで練習しているバレー部に負けないように大きな声を出して毎日の厳しい練習に耐えました。練習メニューもキャプテンを中心に自分たちで考え、当時は強豪校との練習試合をする機会もあまりありませんでしたので、OBの方々や地域の社会人チームの方々に指導や練習相手をしていただいて、とても充実した部活動ができたと思います。当時のチームメイトや、OB、社会人チームの方々とは今でも交流があり、7年前と変わりなく接していただいています。本当にありがたいことです。同じ釜の飯を食った仲間との絆は一生大事にしていこうと思います。

部活も引退し織部祭も終わり、受験シーズンに突入すると、今までと教室や授業の空気が変わり、生活のリズムも変わり始めました。平日は夕方まで授業をし、放課後は遅くまでリスニングや小論文の個人指導を先生方にしてもらい、土日は毎週のように模試を受け、志望校の合否判定に一喜一憂する日々。月日の経つごとに志望校に合格した仲間が、教室から消えて行き、卒業式が終わってからも3月中旬まで毎日登校し、補習や自習をしていました。結局3月に試験を受けた学校ではなく、もっと早い段階で決まっていた学校に進学しましたが、今となって考えると、最後の最後まで学校に通ったことは決して無駄ではなかったし、他のクラスメイトよりも少しだけ長く大東高校で生活できて良かったと思っています。

私は今、地元大東に帰って仕事をしています。毎朝新聞を読んでは、大東高校生の活躍が載っていると必ず記事全文に目を通し、自分のことのように嬉しい気持ちになります。私だけではなく、たくさんの卒業生の方々が、在校生の皆さん、そして大東高校の活躍、発展に期待しています。

5棟が完成しました!

平成21年6月から耐震補強工事に伴う校舎改築事業が始まりました。これまでに第一体育館の耐震補強工事、第1棟耐震補強および改築工事、耕心寮取り壊しが終わり、今年7月には第5棟の新築工事（視聴覚教室・音楽室・パソコン教室）が、9月に第3棟（教室棟）のトイレ新設工事が完了しました。現在は、校舎リフレッシュ工事が進行中です。また、第2棟（管理棟）3階の改築工事が始まり、当初の計画より遅れて平成24年12月にはすべての工事が完了する予定です。



校舎外観（5棟は右奥）



視聴覚教室



パソコン教室



音楽室

大東高校のホームページが新しくなりました!

8月30日に本校のホームページをリニューアルしました。これから学校からのより迅速な情報発信をしていきます。八雲会のページもあり、今後充実させていきたいと思っています。是非、新しくなった本校HPを訪れてみてください。皆様からのお知らせ、寄稿、同窓会報告なども載せていきたいと思しますので、情報をお寄せください。



第49回島根県高等学校総合体育大会結果報告（6月）

陸上競技部

光谷 3000M SC 8位入賞
高島 走幅跳 決勝進出

女子ソフトボール部

2回戦 大東2-0 出雲商業
準決勝 大東4-1 江津
決勝 大東7×-6 松江商業
(延長11回 タイブレーク)
(5年ぶり12度目の優勝) **インターハイ出場**

バドミントン部

男子団体 準々決勝 大東3-0 松江農林
準決勝 大東3-0 松江南
決勝 大東3-0 松江北
(4年連続17度目の優勝) **インターハイ出場**

男子個人 シングルス

第1位 山崎大 **インターハイ出場**
第2位 岸野 **インターハイ出場**
第3位 井田大、野々村亮
ベスト8 加藤、井田洋、舟木、遠藤

ダブルス

第1位 山崎大・加藤 **インターハイ出場**
第2位 野々村亮・岸野 **インターハイ出場**
第3位 山本・後藤、舟木・井田大
ベスト8 渡部・山崎誠、遠藤・佐々木
野々村真・中村、井田洋・小村

女子団体 2回戦 大東3-0 遼摩
準々決勝 大東3-0 出雲商業
準決勝 大東3-0 松江東
決勝 大東0-3 松徳学院

女子シングルス

準々決勝進出 八幡垣、森山、小山

ダブルス

第2位 森山・小山 **インターハイ出場**
第3位 八幡垣・和久利

男子バスケットボール部

1回戦 大東80-92 平田

男子バレーボール部

2回戦 大東0-2 松江南

女子バレーボール部

1回戦 大東2-0 隠岐水産
2回戦 大東0-2 松江東

剣道部

男子団体 1回戦 大東4-0 島根中央
2回戦 大東0-4 松江東
個人戦 準々決勝に進出できず
女子団体 1回戦 大東5-0 浜田
2回戦 大東2-2 松江東(本数差で敗退)
個人戦 準々決勝に進出できず

卓球部

男子団体 2回戦 大東0-3 隠岐
シングルス、ダブルスとも準々決勝に進出できず
女子団体 1回戦 大東0-3 松江商
シングルス、ダブルスとも準々決勝に進出できず

ソフトテニス部

男子団体 1回戦 大東1-2 三刀屋
個人戦 準々決勝に進出できず
女子団体 2回戦 大東1-2 浜田
個人戦 準々決勝に進出できず

空手道部

男子団体 形 1回戦 大東1-4 出工
団体組手 準決勝 大東3-2 出雲
決勝 大東0-5 松徳
個人戦 準々決勝に進出できず
女子団体 形 決勝 大東0-7 松江南
団体組手 決勝 大東2-1 松江南
(2年連続9度目の優勝)

インターハイ出場

個人組手 佐藤、門脇 ベスト8
個人 形 森山 ベスト8

男女総合
13位

男子 Bグループ 2位 女子 Aグループ 9位

*第48回 (H22) 男女総合 Bグループ 2位 (男子総合A13位・女子総合A16位)
*第47回 (H21) 男女総合 Aグループ 9位 (男子総合A9位・女子総合A7位)
*第46回 (H20) 男女総合 Aグループ15位 (男子総合A21位・女子総合A7位)
*第45回 (H19) 男女総合 Aグループ11位 (男子総合A11位・女子総合A12位)
*第44回 (H18) 男女総合 Aグループ10位 (男子総合A10位・女子総合A8位)

野 球

全国高等学校野球選手権鳥根大会（7/18～21 松江、浜山）

- 1回戦 大東 6－5 松江北
- 2回戦 大東 1－2 松江商業



吹奏楽

全日本吹奏楽コンクール鳥根県予選（8/7 益田グラントワ）
 高校Aの部 銀賞

全国高校総合体育大会 の結果（8月）

インターハイ「2011熱戦再来北東北総体」

女子空手道部（青森県十和田市）

- 1回戦 大東 1－4 小松島西（徳島）

女子ソフトボール部（秋田県由利本荘市）

- 2回戦 大東 0－8 小倉商業（福岡）

バドミントン部（青森県弘前市）

- | | | |
|-----|--------|---------------------------|
| ☆男子 | ○団体戦 | 1回戦 大東 3－0 徳島商業 |
| | | 2回戦 大東 0－3 比叡山 |
| | ○シングルス | 1回戦 岸野 2－1 で勝利 |
| | | 2回戦 岸野 0－2 で敗退 山崎 2－0 で勝利 |
| | | 3回戦 山崎大 2－1 で勝利 |
| | | 4回戦 山崎大 0－2 で敗退（ベスト16） |
| | ○ダブルス | 1回戦 山崎大・加藤 1－2 で敗退 |
| | | 2回戦 野々村・岸野 0－2 で敗退 |
| ☆女子 | ○ダブルス | 2回戦 森山・小山 0－2 で敗退 |

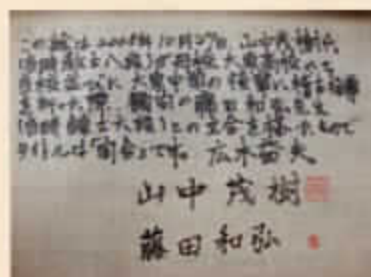


女子空手道部

広木益夫さん（高16期）から 絵を贈呈していただきました

剣道の“スーパースター”高校15期の山中茂樹さん（剣道範士八段）が2005年に来校されたときの剣道の稽古風景を広木さんが描かれた絵を今年8月贈呈していただきました。

2005年に大東高校剣道部保護者会の錦織会長を通じて山中さんに来校のお願いをしたところ快諾され、中学、高校の生徒たちの稽古のために来校して



絵の裏書き

いただきました。その際に広木さん、芦田さん（当時大東中学校長）も同行されていました。

その時の稽古風景を広木さんが描かれたものです。（稽古を受けているのは藤田教諭（本校剣道部顧問））

絵は2棟校長室前に展示しています。額縁の中には、当時の写真や資料が残っております。



広木さん（前列左）
 後列左から 芦田さん、藤原さん（部活動後援会会長）
 前列＝河原校長と藤田教諭

卒業生の進路状況について

(1) 進路概要 (過去3年間)

	H20年度	H21年度	H22年度
進学	119	141	94
就職	18	7	14
進学準備	6	2	5
合計	143	150	113

進路指導部

今春の卒業生の進路状況は左表の通りです。就職者の人数は前年度に比べ倍増しましたが、今春が多いというわけではなく、昨春の就職者が少なかったというところでは、例年と同じく、今春も製造系・技術職に進む生徒が多い傾向にあります。特筆すべきは今春中国電力の事務に1名合格したことです。21年ぶりの快挙です。

進学に関しては、その傾向は例年とほとんど変わりなく、大学・短大・専門学校を含め、県内および中国地区の学校への進学が大半を占めています。また、志望傾向において、看護・医療(リハビリ)系が最も多く、次いで教育系が多いのも本校生徒の志望傾向の特徴と言えます。

昨年もこの紙面で述べましたが、最近の入試の特徴としては、私大・短大・専門学校を受験する生徒の大半が推薦入試やAO入試を利用しているということです。全国の大学入学者数の4割超がAOと推薦入試で入学している現状があり、本校も例外ではないということが言えます。

(2) 進学状況 (平成22年度)

	合格者数	進学者数
国公立大学	25(1)	24(1)
私立大学	68(1)	24(1)
公立短期大学	16	12
私立短期大学	3	2
医療系専門学校	16	5
その他の専門学校	32	27

(3) 就職状況 (平成22年度)

	事務	販売	技能職	公務員	計
県内	1	2	6	0	9
県外	1	0	1	3	5
合計	2	2	7	3	14

【就職状況 今と昔】

昨年度発行の第48号では【進路状況 今と昔】と題して、主に進学に関して今と昔ではどう変わってきているのかをお話しました。今年度は【就職状況 今と昔】と題して、主に本校の就職状況について述べてみたいと思います。

過去のデータは「創立七十周年記念追録大東高等学校誌」及び「創立八十周年記念追録大東高等学校誌」に掲載されているものから抜粋し、最近のデータと比較してみました。

まず【表1】本校の就職者の割合の推移を見ると、昭和50年代までは50%前後を推移しています。

昭和60年代から徐々に就職者の割合が下がり始め、現在は1割程度を推移しています。

昭和50年代までは国鉄や電電公社を含めた公務員の数かなり多く含まれています。最近は国家公務員や県職員に合格することはなかなか厳しい状況で、消防士や自衛官などに進む方が多くなっています。

次に【表2】本校に対する求人数の推移を見てみたいと思います。学校誌の記述を見ると、昭和56年が求人数のピークで、その後は円高不況の影響で県内・県外とも求人企業数・求人数ともに激減したと書かれています。現在は県内・県外併せて200人足らずの求人、県内求人は30人程度です。

毎年5月頃にその春に就職した企業を中心に、入社後の様子伺いと次年度の求人募集のお願いを目的に企業訪問をしています。どの企業においても本校の卒業生は頑張っているというお話をききます。同じ企業内に八雲会の方がいらっしゃいましたら、ぜひ声を掛けていただき、暖かく見守っていただければ幸いです。

【表1】本校の就職者の割合の推移

年度	卒業生数	就職者数	割合(%)
S54	197	107	54.3
S63	218	82	37.6
H9	183	37	20.2
H22	113	14	12.4

【表2】本校に対する求人数の推移

年度	県内	県外	合計
S56	302	2438	2740
S61	77	439	516
H22	34	158	192

編集後記

先の東日本大震災、そして9月の台風による大雨。八雲会会員や関係者の皆様の中にも被災された方がいらっしゃるのではないかと思います。心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を祈っております。

さて、「八雲」会報の発行に際しましては、ご多用の中、今年も多くの皆様のご協力をいただきました。ありがとうございました。これからも各地で行われる支部会や、同窓会などの情報、各方面で活躍中の皆様の記事、校歌や校章に纏わるエピソードなどを載せていきたいと思っています。皆様からの情報をどんどんお寄せください。

大東高校内八雲会
本部事務局

島根県立大東高等学校 〒699-1251 島根県雲南市大東町大東637
TEL (0854) 43-2511・FAX (0854) 43-2512
E-mail: daito-01@shimanet.ne.jp 新ホームページ <http://www.daito-h.ed.jp>